

南日本職域対抗ゴルフ 初優勝



湯田内科病院A(左からリハビリ療法士長、事務部長、理事長、外来主任) = 蒲生CC

湯田内科病院 念願の初V

序盤苦戦も流れ変え頂点へ

湯田内科病院Aが第50回南日本職域対抗ゴルフで悲願の初優勝を果たし、75チームの頂点に立った。大会は4人1組による18ホールストロークプレーで行われ、ハンディキャップはダブルペリア方式。記念すべき50回大会で、湯田内科病院は25回目の出場にしてついに栄冠を掴む。当日はスタートホールで全員がパーをキープできず、序盤は不安の残る立ち上がりとなった。しかし、2番ホールで外来主任が見事なバーディーを決めるとチーム全体の流れが一変。そこから徐々に調子を取り戻し、安定したプレーを重ねた。

和・輪・話

号外

2026年(令和8年)

5月18日

月曜日

発行所

日置市東市来町湯田2994

湯田内科病院
広報委員会



5月18日付け 南日本新聞

理事長は霧島一祁答院コースで71のベストグロスを記録。事務部長は後半に粘り強くスコアをまとめ、リハビリ療法士長も終始安定感あるプレーを見せた。それぞれが持ち味を発揮し、湯田内科病院の歴史に新たな1ページを刻んだ。メンバーは長年ともにラウンドを重ねてきた仲間であり、お互いの性格やプレースタイルを熟知。その信頼関係が今回の優勝につながったと考える。優勝報道後には患者さまや地元住民の方々からお祝いの言葉が寄せられ、「自分のことのようにうれし」と喜ぶ声も多く聞かれた。温かい言葉の数々に、地域の支えを改めて感じる大会となった。今後も地域とのつながりを大切にしながら、さまざまな活動を通じて地域貢献を続けていきたい。

優勝インタビュー



医療法人 健誠会
理事長 齊藤 稔

今回の優勝について、率直な気持ちをお聞かせください。

苦節25年、念願の初優勝！感無量でした。

優勝につながった要因は何だと思いますか？

4人共に、最後まで集中できたこと。

大会を通して特に印象に残っている場面はありますか？

スタートホールで全員がつまづいた点。しかし、そこから立ち直ることができました。

チームとしての強みや雰囲気について教えてください。

長年一緒に回っているメンバー。和気あいあいとした雰囲気でした。

今後の大会や活動への意気込みをお願いします。

2回目の優勝。ゴルフ同好会全員のレベルアップを目指します。

